

2017年10月18日

豊橋技術科学大学 学長 大西 隆

武蔵精密工業株式会社 代表取締役社長 大塚 浩史

豊橋技術科学大学と武蔵精密工業株式会社による <豊橋発 オープンイノベーション>始動(包括連携調印)

豊橋技術科学大学(豊橋市,学長:大西隆,以下 豊橋技科大)と武蔵精密工業株式会社(本社:豊橋市,社長:大塚浩史,以下 ムサシ)は研究成果の社会活用促進、グローバルで活躍できる技術人材の育成を目的とし、2017年10月18日に、包括連携協定を締結しました。

本協定においては、**ものづくりにおける AI 活用研究(画像認識/データ解析/工程計画策定)、ロボット活用研究(生産プロセスのロボット化/ロボット技術導入)、新素材活用、製造過程におけるシミュレーション研究**など、ものづくりのイノベーションに不可欠な要素について、共同研究を企画推進します。ムサシは AI/IoT/ロボット技術を活用したスマートファクトリー、会社のグローバル・ブランドスローガン「Power to Value」を具現化するロボットなどムサシの新事業育成に研究成果を活用していきます。

人材育成では、課題解決型長期インターンや研究者のクロスアポイントメントなどのプログラムを通じて、グローバルに活躍できる技術者を豊橋発で育成します。今後、研究テーマ確立に向けた詳細なマッチングを経て、課題を絞り込み、研究をスタートさせていきます。また、研究施設の設定も検討していきます。



(左)豊橋技術科学大学 大西 隆学長, (右)武蔵精密工業株式会社 大塚 浩史 代表取締役社長

[背景]

豊橋技科大は 1976 年の開学以来、産学連携拠点形成を使命のひとつとして掲げ、2016 年度に技術科学イノベーション研究機構 を設置する等、国内外のリーディング企業やトップ研究機関との効果的な融合研究を積極的に推進しています。武蔵精密工業は、四輪/二輪向け自動車部品において、鍛造から組み立てまでの一貫生産体制と、それを支えるプロセス技術が強みであり、最近では、材料分野などの基礎研究、電動化及び自動運転化に対応した新商品の開発も強化しています。

自動車で 15 分という距離にある両者は、これまで、研究者/技術者間の交流、大学卒業生のインターンや採用を通じて交流を積み重ねてきました。今回、技科大の技術シーズとムサシの保有技術との融合を通じ、材料/機構/生産システムにおけるイノベーション創発と高度技術者の育成をめざして、包括連携に至りました。

<本件に関するお問い合わせ>

豊橋技術科学大学 総務課広報係 河合・高柳・梅藤 TEL : 0532-44-6506

武蔵精密工業株式会社 総務部総務課 玉岡 TEL : 0532-25-1101

<以上>